

エコアクション21 「環境活動レポート」 《2016年版》

(2016年1月1日~12月31日)



発行日：2017年3月10日発行

株式会社 **ホクシンエレクトロニクス**

〒010-0062 秋田県秋田市牛島東一丁目11-8
TEL018-837-0811 FAX018-837-0812

環 境 方 針

【基本理念】

株式会社ホクシンエレクトロニクスは、社会の一員であることを深く認識して、公平かつ透明な企業行動に徹するとともに、企業活動を通じて、地球的な環境の保全と地域的生活環境の向上に努めます。

【行動指針】

基本理念のもと、当社は、移動体通信機器用部品及び電子応用機器の組立ての製造メーカーとして経営全般にわたる環境影響を考慮し、以下に掲げる指針に基づく環境管理活動を推進します。

1. 当社は事業活動、製品及びサービスの性質・規模及び環境影響に対して適切な環境経営システムを構築し、環境保全活動に努めます。
2. 当社の事業特性が環境に与える影響を的確に捉え、環境経営システムの継続的改善を行います。
3. 環境関連法令、条例、協定及び受入を決めたその他の規制の要求事項を順守し、汚染の予防に努めます。
4. 環境に配慮した製品をお客様に提供していくことにより、地球環境保全活動の積極的推進を図ります。
5. 当社の環境負荷に関わる次の項目を環境目的及び目標として優先的に設定し、毎年定期的に見直しを行います。
 - (1) 地球温暖化防止のため省エネ・省資源を推進する
 - (2) 廃棄物の分別収集を徹底し、再資源化に貢献する
 - (3) 化学物質の排出量・取扱量の継続的な管理を実施する
 - (4) 環境に対する負荷のできるだけ少ない物品等を優先的に購入するグリーン購入に取り組む
6. この方針を達成するために、環境経営マニュアルを策定し、実施し、維持します。
7. 当社に従事する全ての人に環境教育を通じ、本方針を周知するとともに、業務委託先や調達先等にも理解と協力を求めています。
8. 社内外からの求めに対し、環境方針を開示します。

2012年 4月 9日

株式会社 ホクシンエレクトロニクス
代表取締役社長 佐藤 宗樹

《組織の概要》

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社ホクシンエレクトロニクス
代表取締役 佐藤 宗樹

2. 事業活動の内容

本社工場：通信アンテナ、ヒンジ等の電子部品並びに液晶バックライト用ランプユニットの製造及び樹脂成形部品の製造

第一工場：半導体製造装置ユニットの製造
電子応用機器の製造

第二工場：FPCの製造

開発部：新製品の設計開発とその製造

3. 所在地

本社工場 秋田県秋田市牛島東1丁目11-8

第一工場 秋田県秋田市牛島西1丁目4-10

第二工場 秋田県秋田市牛島西1丁目4-10

開発部 秋田県秋田市新屋町砂奴寄4-11 (秋田県産業技術センター内)

4. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 鈴木 秀紀 E-mail: hideki-suzuki@hokushin-elec.co.jp

連絡先 TEL 018(837)0811

FAX 018(837)0812

5. 事業の規模

活動規模	単位	平成26年	平成27年	平成28年
従業員	人	181	177	180
床面積	m ²	2,614	2,614	2,614

(人員については、事業所内の在籍者の年度末人数)

《対象範囲と対象取組期間》

1. 認証・登録範囲

通信アンテナ、ヒンジ等の電子部品並びに液晶バックライト用ランプユニットの製造及び樹脂成形部品の製造。半導体製造装置ユニットの製造。電子応用機器の製造。FPCの製造。新製品の設計開発とその製造。

2. 環境活動レポートの対象取組期間 平成28年1月1日～12月31日

《環境目標とその実績》

1. 環境目標（中期目標）

①平成28年～平成31年目標とその実績

目的	目標	現状指標	計画	中期計画(年度別)				実行 責任部門	最終年度結果 (達成状況)	計画・実行の推移
				平成28年	平成29年	平成30年	平成31年			
1	温室効果ガス排出量削減	H20～23年度比△4.0%	15524kg-CO2	4年	△4.5%	△5.0%	△5.2%	△5.4%	統括部門	
2	廃棄物削減とリサイクルの推進	再資源化率(ゼロエミ率)向上	91.8%	4年	≥94.0%	≥94.0%	≥94.5%	≥94.5%	統括部門	
3	リスク管理の強化	・リスクアセスメントの継続実施	H23年度開始	4年	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	統括部門	
		・緊急事態の対応	全社避難訓練		1回/年	1回/年	1回/年	1回/年		
4	環境配慮製品の購入	グリーン購入の推進	96.0%	4年	≥98.0%	≥98.2%	≥98.4%	≥98.6%	統括部門	
5	省資源の推進	OA用紙購入量の削減	3.5枚/人	4年	2.7枚/人	2.5枚/人	2.3枚/人	2.1枚/人	統括部門	
6	社会貢献活動の推進	清掃活動・廃食用油・献血他	随時計画	4年	毎年計画	毎年計画	毎年計画	毎年計画	統括部門	
7	環境教育及びコミュニケーションの 推進	・環境教育(外部・内部)	随時計画	4年	毎年計画	毎年計画	毎年計画	毎年計画	統括部門	
		・協力会社支援	計画・実施		パトロール指導	パトロール指導	パトロール指導	パトロール指導		

●温室効果ガス排出量削減については、平均14,826kg-CO₂の△4.5%の目標に対して、平成28年度は17,608kg-CO₂で19%増の実績。

(当社の温室効果ガス排出については、主に購入電力が占めるが、その排出係数については、東日本大震災以前の係数である0.468kg-CO₂としている)

●再資源化率についても、目標≥94.0%に対して、平成28年度平均にて平均=87.8%となり目標未達成となっており、前年を3.4%ダウンした。

それ以外の項目については、「環境教育及びコミュニケーション」以外の項目で、概ね計画した内容通りとなっている。

2. 平成28年1月～12月までの環境管理計画と実績

目標	主要施策	指標	計画 実績 判定	計画及び実績												実行 担当者	当年度最終結果 [目標達成状況]	最終 判定
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
1 温室効果ガス排出量削減	《省エネルギーの徹底》 ・省エネパトロールの継続 ・電気機器類の節電	平均14,903kg -CO2より削減 目標△4.0%	計画	≤17,040	≤20,973	≤17,330	≤15,354	≤11,727	≤12,928	≤16,643	≤14,505	≤16,124	≤11,175	≤12,405	≤11,703	鈴木	H20～23年度比 △4.5%は 冬季に悪化	○
			実績	21,409	24,743	20,252	16,214	12,891	13,565	13,892	17,256	19,319	12,258	17,201	17,608			
			判定	△	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	△	△			
2 廃棄物減とリサイクルの推進	・一廃、産廃の分別と削減 ・リサイクルの推進	再資源化率 ≥94.0% (年度末目標)	計画	≥94.0%	≥94.0%	≥94.0%	≥94.0%	≥94.0%	≥94.0%	≥94.0%	≥94.0%	≥94.0%	≥94.0%	≥94.0%	≥94.0%	鈴木	赤札等で悪化 90%維持が 厳しい状況	○
			実績	88.8%	89.8%	90.8%	91.3%	86.0%	87.0%	92.8%	91.3%	87.3%	87.7%	86.2%	74.6%			
			判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△			
3 リスク管理の強化	《安全管理の推進》 ・リスクアセスメントの実施 (労働安全衛生、化学物質等)	継続実施	計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鈴木	未実施	△
			実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	・緊急事態の対応 (通報・避難訓練の実施)	1回/年	計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	訓練実施	-	-	鈴木	避難・通報 訓練のみ実施	◎
			実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10/25	-			
4 環境配慮製品の購入 (グリーン購入)	・環境ラベル、識別表示 確認による資材購入	≥98.0% (前年平均 97.8%)	計画	≥98.0%	≥98.0%	≥98.0%	≥98.0%	≥98.0%	≥98.0%	≥98.0%	≥98.0%	≥98.0%	≥98.0%	≥98.0%	≥98.0%	鈴木	総じて目標は 達成された	◎
			実績	99.3%	95.2%	99.5%	99.7%	98.5%	96.7%	96.4%	99.4%	96.1%	100.0%	97.9%	98.4%			
			判定	◎	○	◎	◎	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎			
5 社会貢献活動の推進	・秋田県主催行事への参加 ・献血の実施 ・ごでん回収	1回/年 2回/年 随時実施	計画	-	-	献血	-	-	-	-	-	献血	県清掃参加	-	-	鈴木	県清掃が 実施月変更で 不参加となった	△
			実績	-	-	3/14実施 6名	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
			判定	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
6 環境教育及びコミュニケーション の推進	・環境教育(外部・内部) ・協力的社支援(必要により)	随時計画 計画・実施	計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鈴木	未実施	△
			実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
			判定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

●総排水量（あるいは水使用量）については、平成27年度実績＝1,738m³に対して平成28年度実績＝1,495m³となり、14.0%減少した。

●化学物質使用量については、PRT制度対象物質として半田に含まれるAg・Pb・Niであるが、届出が必要な排出量ではなく該当しない。

3. 環境目標（中期目標）

①平成28年～平成31年目標

	目的	目標	現状指標	計画	中期計画(年度別)				実行 責任部門	最終年度結果 (達成状況)	計画・実行の推移
					平成28年	平成29年	平成30年	平成31年			
1	温室効果ガス排出量削減	H20～23年度比△4.0%	15524kg-CO2	4年	△4.5%	△5.0%	△5.2%	△5.4%	統括部門		
2	廃棄物削減とリサイクルの推進	再資源化率(ゼロミ率)向上	91.8%	4年	≥94.0%	≥94.0%	≥94.5%	≥94.5%	統括部門		
3	リスク管理の強化	・リスクアセスメントの継続実施	H23年度開始	4年	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	統括部門		
		・緊急事態の対応	全社避難訓練		1回/年	1回/年	1回/年	1回/年			
4	環境配慮製品の購入	グリーン購入の推進	96.0%	4年	≥98.0%	≥98.2%	≥98.4%	≥98.6%	統括部門		
5	省資源の推進	OA用紙購入量の削減	3.5枚/人	4年	2.7枚/人	2.5枚/人	2.3枚/人	2.1枚/人	統括部門		
6	社会貢献活動の推進	清掃活動・廃食用油・献血他	随時計画	4年	毎年計画	毎年計画	毎年計画	毎年計画	統括部門		
7	環境教育及びコミュニケーションの 推進	・環境教育(外部・内部)	随時計画	4年	毎年計画	毎年計画	毎年計画	毎年計画	統括部門		
		・協力的会社支援	計画・実施		パトロール指導	パトロール指導	パトロール指導	パトロール指導			

●温室効果ガス排出量削減については、平成31年度末までに△5.4%を目指す。

平成29年度より省資源の推進に関しては、新たに具体的な電力使用量等の目標を設定しており削減を目指す。

●廃棄物削減とリサイクルの推進については、平成31年度末までに≥94.5%を目指す。

●リスク管理の強化については、リスクアセスメントの実施継続、緊急事態の対応を継続しつつ、年度によっては新たな計画を検討しながら進めていく。

●それ以外の目的・目標については、レベル向上を図り、新たな項目等を加え適時見直しを進めていく。

4. 平成29年1月～12月までの環境管理計画と1月までの実績

目標	主要施策	指標	計画 実績 判定	計画及び実績												実行 担当者	当年度最終結果 [目標達成状況]	最終 判定
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
1	温室効果ガス排出量削減 ・省エネパトロールの継続 ・電気機器類の節電	平均14,903kg -CO2より削減 目標△4.0%	計画	≦16,951	≦20,863	≦17,240	≦15,273	≦11,666	≦12,860	≦16,556	≦14,430	≦16,040	≦11,117	≦12,341	≦11,641	鈴木		
			実績 判定	21,234 △														
2	廃棄物減とリサイクルの推進 ・一廃、産廃の分別と削減 ・リサイクルの推進	再資源化率 ≧94.0% (年度末目標)	計画	≧94.0%	≧94.0%	≧94.0%	≧94.0%	≧94.0%	≧94.0%	≧94.0%	≧94.0%	≧94.0%	≧94.0%	≧94.0%	≧94.0%	鈴木		
			実績 判定	91.0% ○														
3	省資源の推進 省エネルギーによる電力 使用量の削減 (LED照明・設備関係)	各部門目標 フォロー対応	計画	-			電力調査			電力調査	効果確認					鈴木		
			実績 判定	- -														
4	リスク管理の強化 ・緊急事態の対応 (通報・避難訓練の実施)	1回/年	計画	-									訓練実施			鈴木		
			実績 判定	- -														
5	社会貢献活動の推進 ・秋田県主催行事への参加 ・献血の実施 ・ごでん回収	1回/年 2回/年 随時実施	計画	-		献血			県清掃参加			献血				鈴木		
			実績 判定	- -														
6	環境教育及びコミュニケーション の推進 ・環境教育(外部・内部) ・協力会社支援(必要により)	随時計画 計画・実施	計画	-												鈴木		
			実績 判定	- -														

●エコアクション21ガイドライン2009年版による総排水量（あるいは水使用量）、化学物質使用量については、過去の経緯より把握・維持活動を継続し、毎年環境活動レポートによって状況を公表する。

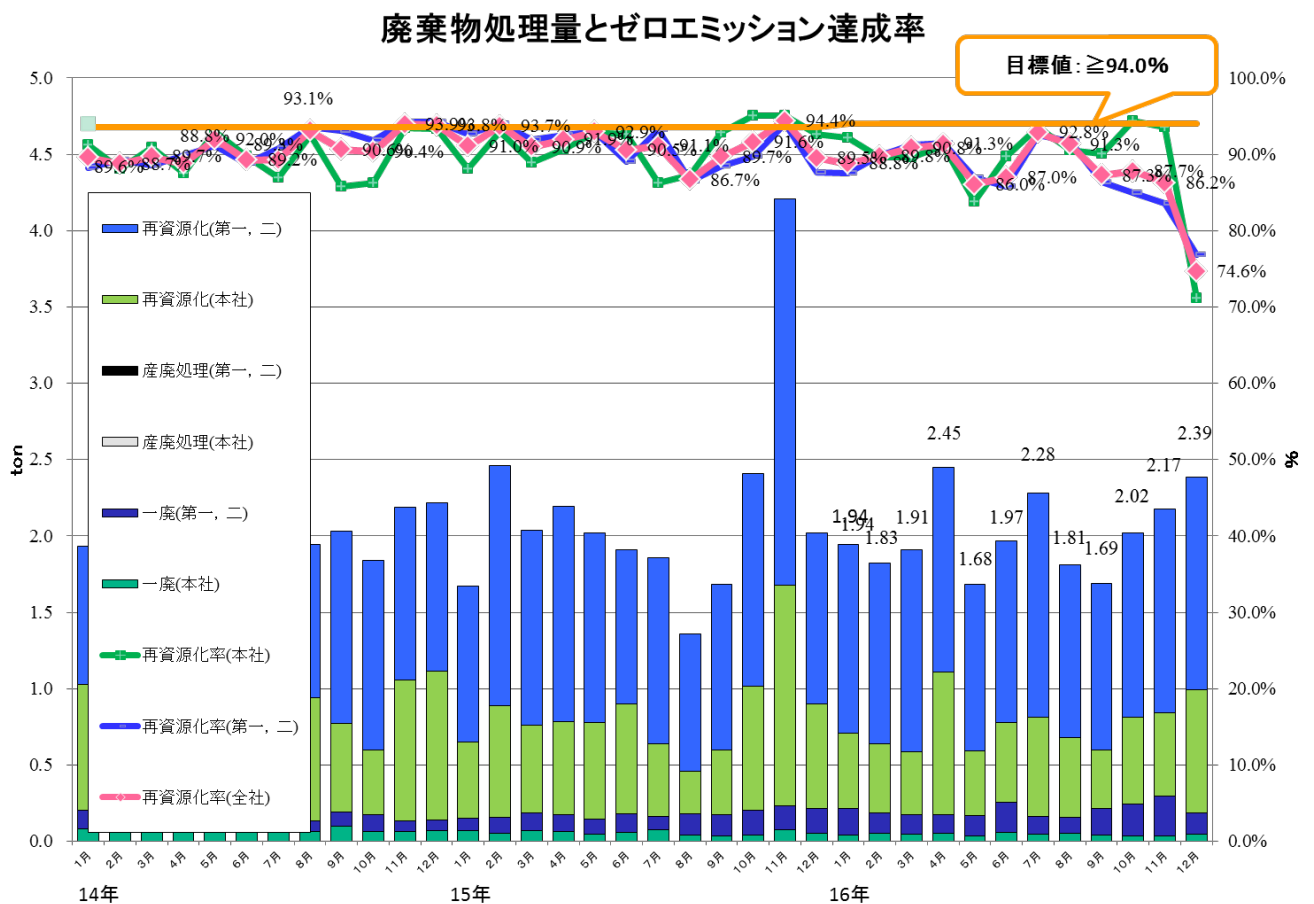
《環境活動の取組結果の評価》

＜ 温室効果ガス排出量削減:評価 ○＞

- ① PCモニタ電源、20分後OFF設定
- ② 休憩時間の天井照明の消灯
- ③ 事務部門、廊下、倉庫等の天井灯りの間引き（安全優先で対応）
- ④ 無人エリアの冷暖房スイッチOFF
- ⑤ 毎週水曜日（5月～金曜日→水曜日へ変更）の定時退社日の設定と省エネパトロールの継続実施

＜ 廃棄物削減とリサイクルの推進 :評価 ○＞

- ① 一般廃棄物、産業廃棄物の分別と削減



② リサイクルの推進

年トータルとして25.8 ton排出し、24.1 tonを再資源化処理。再資源化率は87.7%となった。年間通しての目標であった $\geq 94.0\%$ は未達成となった。

平成28年度の再資源化率は、74.6%~91.3%となり、特に12月度74.6%については5S委員会での赤札作戦による廃棄物（埋立処理）が増加したことで、大幅にダウンする結果となっている。

＜ リスク管理の強化 :評価 ◎＞

①緊急事態の対応（通報・避難訓練の実施）：10月に実施。

②リスクアセスメントの継続実施

平成23年度に「安全衛生管理規定」並びに「リスクアセスメント実施手順」等の規定を整備して、各部門でのリスクアセスメントを開始している。平成29年度以降も継続して進めていく。

＜ 社有車排ガスの削減・省資源の推進 :評価 ◎＞

※本活動は、総務部門が主体で実施

①エコドライブ活動の推進

平成22年1月～秋田県エコドライブ宣言事業所として、活動をスタートさせた。社内へ右のポスターを掲示し、社有車へは秋田県より交付されたステッカーを貼り啓蒙。また以前より実施していた、個別車両燃費の集計を継続して実施し、月ごとに一覧表としてまとめて目標管理を実施している。

このエコドライブ活動については、毎年4月に秋田県へその取組状況を報告している。

「エコドライブ10のすすめ」

ふんわりアクセル「eスタート」で燃費11%アップ!

- ①ふんわりアクセル「eスタート」
～最初の5秒で時速20キロを目安に～
- ②加減速の少ない運転
～交通状況に応じて安全な低速走行を～
- ③早めのアクセルオフ
～エンジンブレーキの活用を～
- ④控えめなエアコン使用
～こまめに温度・風量調整を～
- ⑤アイドリングストップ
～無用のアイドリングをやめましょう～
- ⑥適切な暖気運転
～エンジンをかけたら、すぐに出発を～
- ⑦道路交通情報の活用
～出発前に渋滞や道路障害をチェック～
- ⑧タイヤの空気圧はこまめにチェック
～確実に点検整備をしましょう～
- ⑨不要な荷物は積まずに走行
～荷物は必要なモノだけ積みましょう～
- ⑩駐車場所に注意
～違法駐車をしなさい～

平成22年3月1日
株式会社ホクシンエレクトロニクス

②OA用紙使用量の削減（年間実績2.1枚/人の購入。昨年と同様）

- ・印刷は、印刷プレビューを見て印刷してミスプリントを減らす。
- ・資料削減の推進
（会議資料の見直し、プロジェクターやメール・回覧・共有ファイルの活用）
- ・両面コピーの徹底
- ・ミスコピーの防止
- ・裏紙使用の実施（メモ用紙等にも活用）
- ・縮小コピーや集約印刷の利用
- ・第二工場から発生するB4版用紙の活用 → これによってA3版用紙以外購入なし

＜環境配慮製品の購入：グリーン購入：評価 ◎＞

平成27年度は、グリーン購入率目標 $\geq 98.0\%$ に対して、平均値 $= 98.1\%$ でギリギリ目標達成。

〈 社会貢献活動の推進 :評価 ◎〉

①秋田県主催行事への参加：1回／年

②献血活動：1回／年（3月・9月予定）

社会貢献活動については、計画通りほぼ実施した。こでんりサイクルについては、平成23年5月より事業所内に「回収BOX」を準備して活動を開始して継続している。今後も事業所に於ける小型家電回収活動は継続して進めていく。

秋田県主催行事への参加を予定していたが、秋から春へ実施時期が変更となり、参加出来なかった。平成29年度については改めて事前に情報を把握した上で、参加出来る様進めていく。

〈 コミュニケーションの推進 :評価 △〉

①環境教育（外部・内部）

外部講習へ参加する程度であった。

②協力会社支援

社内への内製化で対応したことによって、協力会社に対する支援実績はなかった。

〈環境関連法規への違反、訴訟等の有無〉

1. 環境関連法規、要求事項 抜粋

適用欄記号（◎：法規制等適用、○：自主的適用）
 遵守評価記号（○：遵守している、×：遵守していない）

No.	法令・条例名	法的要求事項				環境負荷	適用	遵守評価
		法令要求事項(条項抜粋)	届出	測定点検	報告			
1	騒音規制法	特定施設振動規制法施行令別表第一:合成樹脂用射出成形機	有	有	無	第3種区域	◎	○
2	振動規制法	特定施設騒音規制法施行令別表第一:合成樹脂用射出成形機	有	有	無	第2種区域	◎	○
3	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処分委託業者の契約 マニフェストの交付・回収	無	無	有	保管庫・マニフェスト・委託契約	◎	○
4	消防法	危険物の貯蔵、取扱い	有	有	有	現場保管庫02未満	◎	○
5	労働安全衛生法	作業主任者選任、特殊健康診断	有	有	有	有機溶剤・半田等	◎	○
6	使用済自動車の再資源化等に関する法律	使用済自動車の引取業者への引渡	無	無	無	社有車の廃棄時	◎	○
7	建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律	建築資材廃棄物再資源化費用の負担、再資源化資材の使用	有	無	無	80㎡以上の解体工事	◎	○

※2017年2月28日付において、環境関連法規の遵守状況を確認し問題なし

2. 違反・訴訟等の有無

当社における環境関連法規への違反は、過去5年間ありません。また、関係行政機関からの違反等の指導は特に無く訴訟を受けたこともありません。更に、近隣地域住民からの苦情もありませんでした。

《代表者による全体評価と見直しの結果：平成28年7月実施》

[議事内容]

1. 環境管理統括責任者への報告（環境管理責任者及び統括部門説明）

- ① 内部環境監査の結果、法的要求事項及び組織が同意するその他要求事項の順守評価の結果
- ② 苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション
- ③ 組織の環境パフォーマンス
- ④ 目的及び目標が達成されている程度
- ⑤ 是正処置及び予防措置の状況
- ⑥ 前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ
- ⑦ 環境負荷に関係した法的及びその他の要求事項の進展を含む、変化している周囲の状況
- ⑧ 外部審査による指摘事項
- ⑨ その他経営的見地
- ⑩ 環境管理責任者からの改善のための提案

2. マネジメントレビュー評価結果（環境管理統括責任者）

レビュー項目	レビュー観点	判定※	備考
環境方針	環境方針は適切か	○	今後見直しを進める
環境管理組織	環境管理組織は妥当か	○	人事異動の都度改訂
環境経営マニュアル	E A 2 1 要求事項に適合しているか	○	活動の範囲の見直し予定。
環境目的・目標 及び 実施計画	環境目的・目標は達成されているか 各項目は、計画通り達成されているか	○	環境管理課及び各部門で作成された計画を進める。 但し、昨年・今年の審査指摘は継続して対応する。
環境マネジメントシステム	EMSは規格要求事項に適合しているか EMSが効果的に実施され、維持されているか	○	適時関連規定の見直しを実施する。

※判定：EMSの適切性、妥当性、有効性（○→良、△→やや不良、×→不良）

3. 経営者からの今年度の指示事項

- ① 計画については、今年の審査でもあった様に「ながら活動」を参考にして、維持管理のみならずルール化されている以外の部分で、新たな計画を検討して欲しい。
→平成29年度計画で対応

※平成28年度実績による環境マネジメントシステム見直し会議については、平成29年5月末までに実施予定。

この環境活動レポートは、ご希望の方に差上げています。ご希望の方は、当社窓口にお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション21中央事務局のホームページ(<http://www.ea21.jp/>)や弊社ホームページ(<http://www.hokushin-elec.co.jp/>)でもご覧いただけます。

次年度の環境活動レポートについては、2018年2月～3月に発行、公開予定。

〒010-0062 秋田県秋田市牛島東一丁目11-8

株式会社ホクシンエレクトロニクス

TEL018-837-0811 FAX018-837-0812

環境管理責任者 鈴木 秀紀

E-mail : hideki-suzuki@hokushin-elec.co.jp